ＦＤ／ＳＤ

プログラム番号　2602E

New!!

教育改善のための IR 活用

■講師

中井　俊樹（愛媛大学　教育・学生支援機構　教育企画室　教授）

専門は大学教育論、人材育成論。1998 年に名古屋大学高等教育研究センター助手、2007 年に准教授、2015 年より現職。著書に、『大学の教員免許業務 Q&A』（共編著）、『看護現場で使える教育学の理論と技法』（編著）、『大学の IR Q&A』（共編著）、『大学の教務 Q&A』（共編著）、『大学教員のための教室英語表現 300』（編著）、『大学教員準備講座』（共著）、『アジア・オセアニアの高等教育』（分担執筆）、『成長するティップス先生』（共著）などがある。

清水　栄子（愛媛大学　教育・学生支援機構　教育企画室　講師）

安田女子大学文学部英語英米文学科卒業。桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修士課程修了。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了（博士（教育学））。学校法人安田学園安田女子大学企画室、庶務課、教務課、学生課、公立大学協会事務局主幹、国立高等専門学校法人阿南工業高等専門学校 FD 高度化推進室特命講師、愛媛大学教育企画室助教を経て、2015 年 4 月より現職。著書に『アカデミック・アドバイジング：その専門性と実践－日本の大学へのアメリカの示唆－』（単著）がある。愛媛大学教職員能力開発拠点 SDC／SPOD-SDC。

■プログラム概要

IR（インスティチューショナル・リサーチ）は、学内外の多様なデータを用いて計画立案、政策形成、意思決定を支援するための情報を提供する活動です。情報を提供するという行為は、単にデータを提供するのとは異なります。大学にはさまざまなデータがありますが、多くのデータはある事実を表した無機質なものにすぎません。データから意味のある情報へと変換することが、IR の業務の本質であり醍醐味と言えます。

データを意味のある情報に変換するには、そのデータがどのような意味を持っているのか、他のデータとどのような関係があるのかなど、問題意識を持って仮説を立てたり解釈したりすることが必要です。また、データを加工して意味のある情報に変換するためには、各種分析手法も重要になります。

本セッションでは、教育改善のための IR 活用の実践事例を通して、各大学の教育改善の場面で活用できる IR の基本的な知識と技能を身につけることを目指します。

■主な受講対象

IR の実践に関心のある教員・職員

■本プログラムの到達目標

1. IR の実践の標準的なプロセスと課題を自分の言葉で説明できる。
2. 教育改善のための IR 活用の実践事例を通して、IR の実践の工夫を説明できる。
3. R の知識と技能を所属大学の教育改善の具体的事例に適用することができる。
4. IR に関する多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気に貢献することができる。

■日時・会場

日　　時　：　平成27年8月26日（水）13：00～17：30

会　　場　：　愛媛大学　城北キャンパス